

3 緑のカーテンのつくりかた

緑のカーテンには、夏にぐんぐん成長し、カーテン状になるアサガオやゴーヤなどのつる性植物が適しています。

①土をつくりましょう

3~4月

プランターの底には鉢底石を敷きましょう。土は園芸土や腐葉土をまぜて作ります。色々な土が販売されていますので、植物にあったものを選びましょう。



近くの園芸屋さん
に相談してみましょう。

(植物には、それぞれ適した
pH 値があります。)

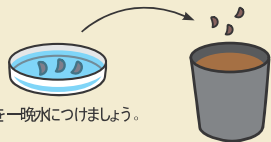
②種をまきましょう

※初めての人は苗からはじめる方が簡単

アサガオ5~6月、ゴーヤ3月下旬~5月上旬

ビニールポットに種を2~3粒まきましょう。種をまいたら、種がかくれるまで土をかぶせ、水をかけましょう。毎日水やりをしましょう。

水を吸ってふくらんだ
種を選びましょう。



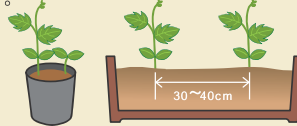
種を一晩水につけましょう。

ゴーヤの種は、
先端をカットしましょう。

③苗を植えましょう

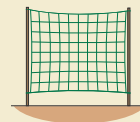
アサガオ6~7月、ゴーヤ5~6月

芽が出て、葉の数が4~5枚になったら、植えかえましょう。苗と苗の間は、30~40cm(指先からひじくくらいまでの長さ)です。

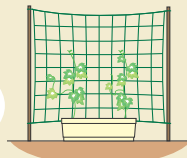


④ネットを張りつるを誘いましょう

6月頃~



ネットは、ベランダや手すりなどに、ピンと張ってしっかり結びつけましょう。固定する場所がないときは、支柱を立てて枠を作ります。



安全に注意し、台風や強風などで外れないか、避難経路をふさいでいないかを確認して設置しましょう。

つるがネットに上手に巻きついていない時は、ビニールひもなどでネットに結んで助けてあげましょう。葉が茂ってきたら、適度に葉をカットして風通しを良くしましょう。

⑤花が咲いて、実がとれます

7~9月

夏になると、大きく育った緑のカーテンには、きれいな花が咲きます。



ゴーヤやキュウリなどは、収穫しておいしく楽しみましょう。



ゴーヤの実が結実してから2~3週間くらいが食べ頃です。

⑥種を取りましょう

9~10月

涼くなってきたら、種を取って、風通しの良い冷暗所で、乾かしましょう。乾燥したら、手のひらでやさしくこすって種についた汚れを落とすあげます。ビンや紙袋などに入れて、冷蔵庫や冷暗所などで保管しましょう。



ゴーヤは、一つの実から20~30個の種が取れます。



⑦片付けましょう

10月頃~

伸びたつるをネットからはずしましょう。ネットは、来年使うために、きれいにたたんでしまっておきましょう。外したつるは、乾燥させてから細かくきざむと堆肥にできます。



□ 用意するもの

種

3月くらいから園芸店やホームセンターなどで販売されます。



苗

初めての人は、苗からはじめる方が簡単! 4月の中旬から6月にかけて店頭に並びます。



土(培養土)

植物にあったものを選びましょう。



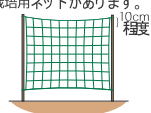
肥料

元気に大きく育てるために肥料も必要です。植えから3~4週間後に肥料をあげ、その後、定期的に肥料をあげましょう。



ネット・支柱

設置する場所に適したものを選びましょう。園芸用ネットやつる性植物栽培用ネットがあります。



ビニールポット

種まきから苗を育てるために使います。



プランター

できるだけ容量の大きいものがオススメです。



鉢底石 プランターの場合

水はけを良くし根腐れを防ぐため、プランターの底の部分に敷きます。



病害虫対策

なるべく人にも環境にもやさしいものを選びましょう。



スコップ・ジョーロ



□ 栽培スケジュール

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
アサガオ			←→	←→	←→	←→	←→	
ゴーヤ		←→	←→	←→	←→	←→	←→	

キュウリ、ヘチマ、ヒョウタンは4月頃に種をまきます。